

株式会社ベルポリエステルプロダクツ

行動規範

作成: 2025年11月7日

基本原則

会社を支えているのは一人ひとりの社員であり、社員は会社の「宝」である。

困りごとをなくし、社員を大切に作る風土を徹底して追及する。

当社で働く全ての人が最大のパフォーマンスを発揮できるよう、職場環境創りを行い、社員の幸せとともに、会社業績向上を目指す。

CONTENTS

1. はじめに
2. 基本姿勢
3. 安全と品質
4. 環境の保全
5. 会社の財産・情報の管理
6. 社外との関係
7. 実践と責任

第1章 はじめに

基本的な考え方

- ・私たちは、社員一人ひとりが安心して働ける環境をつくり、互いに敬意と信頼をもって成長できる職場を目指します。
- ・すべての行動は、この基本的な考え方に沿って判断・実践されなければなりません。

行動規範の適用範囲

- ・本行動規範は、当社の全役員・全従業員（派遣従業員・契約従業員・請負従業員を含む）当社で働くすべてのメンバーに適用されます。また、取引先・業務委託先などのビジネスパートナーにも、その尊重を要請します。

行動規範の目的・位置づけ

- ・本行動規範は、当社の価値観や考え方にに基づき行動基準を具体的に示したものです。
- ・私たちはこの規範に基づき、誠実に行動し、将来世代への責任を認識しつつ、持続可能な成長を目指します。

インテグリティの重要性

- ・私たちは、公正かつ誠実な行動（インテグリティ）を最重視します。
- ・ステークホルダーの信頼を獲得し、倫理的な判断のもとで業務に取り組みます。

変革の重要性

- ・私たちは、持続可能な発展のため、変化に対応する力を重視します。
- ・「困りごとをなくす」ことに向け、社内外の声に耳を傾けながら、継続的な改善を図ります。

経営トップのコミットメント

- ・経営トップは率先して本規範を体現し、規範の違反を許容しません。
- ・組織全体の行動の模範として、体制の整備と改善に取り組みます。

行動規範の実践

- ・上席者は部下に対して模範を示し、規範の内容を教育・浸透させるとともに、公平な評価と育成を行います。

行動規範に対する誠実さ

- ・私たちは、その行動が誠実な行動かどうか迷ったときには以下の問いを自らに投げかけます。
 - ➡その行動は、当社の価値観・行動規範と一致しているか？
 - ➡その行動は、同僚や家族に誇れるか？
 - ➡その行動を社会に知られたとき、不安や後悔はないか？

規範違反の対応

- ・規範に反した場合は、懲戒や人事上の評価に影響を及ぼすことがあります。
- ・上席者は、違反行為に対して管理責任を問われることがあります。

第2章 基本姿勢

人権の尊重・差別の禁止

- ・私たちは、すべての人の人格を尊重し、不当な差別・嫌がらせ・強制労働を排除します。
- ・私たちは、国際的な人権規範や法令を遵守し、すべての従業員に対して健全な労働環境を提供します。
- ・私たちは、不当な労働や児童労働は行わず、取引先にも同様の姿勢を求めます。

ダイバーシティ・インクルージョン

- ・私たちは、個人の多様性を尊重し、自由に意見を表明できる組織文化を育てます。

公正な人事評価

- ・昇級・昇進・処遇は、性別や年齢に関わらず、能力・成果・業務姿勢に基づいて評価されます。

部署間の連携強化

- ・私たちは、部署を超えた連携を促し、孤立や属人化を防ぎます。

声を上げる

- ・私たちは、何かおかしいと感じたときは、勇気を持って声を上げる文化を支援します。

第3章 安全と品質

安全な労働環境の構築

- ・私たちは、安全・衛生・快適性を備えた職場を継続的に改善します。
- ・私たちは、メンタル面にも配慮し、心身ともに健康な職場づくりに努めます。

安全・高品質な製品提供

- ・私たちは、顧客の要望に応え、信頼される製品・サービスを提供します。

品質データの適正管理

- ・私たちは、顧客との約束を守るため、品質データを正しく取得・記録・報告します。

第4章 環境の保全

地球環境の保全

・私たちは、事業活動による環境負荷を最小限にし、生物多様性と持続可能性の実現に貢献します。

環境の10原則:

1. 環境保全の最優先
2. 地球温暖化防止
3. 環境汚染物質の排出ゼロ
4. より安全な化学物質の採用
5. リサイクルの促進
6. 環境管理レベルの向上
7. 環境改善技術・製品による社会貢献
8. 海外事業における環境管理の向上
9. 環境に対する社員の意識向上
10. 環境情報の社会との共有

第5章 会社の財産・情報の管理

文書・データ管理

・私たちは、業務で作成・入手した情報を、所定の期間及びルールに従って適切に管理します。

情報セキュリティ・個人情報

・私たちは、個人情報や秘密情報は、人権・プライバシーに配慮し慎重に取り扱います。

会社財産の保護

・私たちは、社内の有形・無形の資産（設備、ブランド、知的財産など）を正しく扱います。

会計処理と税法順守

・私たちは、法令や社内ルールに基づいた適正な会計・税務処理を行い、裏付け資料の整備を徹底します。

他者の知的財産権の尊重

・私たちは、他社の特許・商標・意匠を侵害しないよう、事前調査と必要な対応（回避・ライセンス取得等）を行います。

第6章 社外との関係

贈収賄の禁止

・私たちは、あらゆる形の賄賂や不正な利益供与・受領を禁止し、公正な取引関係を築きます。

反社会的勢力との関係遮断

・私たちは、反社会的勢力との一切の関係を断ち、取引時には相手の健全性を確認します。

公正な競争

・私たちは、競争法・独占禁止法を遵守し、競合他社とのカルテル行為・虚偽表示を行いません。

輸出入・貿易管理

・私たちは、法令と国際規制を遵守した適正な輸出入管理を行います。

情報公開

・私たちは、適時・適切・透明な情報開示を行い、メディア対応は所定の手続きに従います。

・私たちは、SNS 等での誤解を招く発信を禁止します。

第7章 実践と責任

規範の実践体制

- ・本行動規範を実践するために、全社で継続的な研修・対話・自己点検の機会を設けます。
- ・規範は一度作って終わりではなく、組織と社員の成長とともに進化させていくべきものです。

上司・管理者の責任

上司・管理者は以下の責任を担います。

- ➡本行動規範を自らが率先して体現する。
- ➡部下が相談しやすい職場環境を整える。
- ➡不正や違反を発見した場合、正しく報告し是正を主導する。
- ➡公正で偏りのない指導・評価・育成を行う。

従業員の責任

- ・すべての従業員は、本行動規範を理解し、日々の業務判断においてその精神を体現する責任を負います。
- ・迷いがあるときは一人で抱え込まず、上司や相談窓口に助言を求めることが求められます。

2026年1月1日発行 初版